

気象集誌特別号「Weather and environmental studies using the geostationary meteorological satellite Himawari-8 (静止気象衛星「ひまわり8号」を用いた気象・環境の研究)」論文募集のお知らせ

気象集誌特別号編集委員会

2014年10月に世界最高の性能を有する静止気象衛星「ひまわり8号」が打ち上げられ、試験運用期間を経て2015年7月から定常運用に入った。「ひまわり8号」に搭載されているイメージャAHIは観測波長16バンドを有し、可視バンド0.5 km、赤外バンド2 kmの空間分解能で、全球を10分ごとに、特定領域を2.5分ごとに観測できる。このような新世代の静止気象衛星の観測により、気象学や気候変動・環境変化の研究が大きく進展することが期待できる。衛星の定常運用から1年が経過し、世界中の研究者が観測データを利用するようになってきた。この機会をとらえて、「ひまわり8号」および他の静止気象衛星等の観測データを用いた研究成果を取りまとめ、国際的に紹介することにより、気象学や気候変動・環境変化の研究の発展に資することを期して、気象集誌で特別号を発行する。

この特別号「Weather and environmental studies using the geostationary meteorological satellite Himawari-8 (静止気象衛星「ひまわり8号」を用いた気象・環境の研究)」に掲載する論文について、以下のように募集する。

対象とする研究分野

静止気象衛星「ひまわり8号」の観測データ、および他の静止気象衛星の観測データを用いた気象学や気候変動・環境変化、およびその関連分野に関する研究成果の論文を募集する。具体的には、

- ・観測データの検証結果
- ・位置合わせ・校正・品質管理手法の開発
- ・物理プロダクトやデータ解析のアルゴリズム開発
- ・観測データや物理プロダクトを用いた解析的研究
- ・数値モデルと観測データを組み合わせた研究、等「ひまわり8号」の観測データで代替した、他の新世代静止気象衛星のための研究成果も歓迎する。

投稿要領：

投稿論文は、初出または他に投稿中でないものとし、査読を受けるものとする。その他、論文のスタイル、投稿料なども、気象集誌通常号に準ずる。論文は、気象集誌オンライン投稿システム <https://mc.manuscriptcentral.com/jmsj> から投稿することとする。著者は、当該システムにログイン後、“Author” ボタンを押し、“Author Dashboard” から、“Start New Submission” を選択し、“Begin Submission” ボタンを押すと、“Step 1: Type, Title, & Abstract” のページにたどり着く。そのページの最後で、“special issue” とプルダウンメニューの“Himawari” を選択していただきたい。詳細な投稿要領は、気象集誌のホームページにある <http://jmsj.metsoc.jp/instructions.html> を参照いただきたい。

スケジュール (予定)：

論文募集締切：2017年4月30日

印刷・刊行：2018年4月

特別号編集委員会：

編集委員長	早坂忠裕 (東北大学)
編集副委員長	増永浩彦 (名古屋大学)
編集事務局長	別所康太郎 (気象庁)
編集委員	江淵直人 (北海道大学)
	Kenneth HOLMLUND (EUMET-SAT)
	久慈 誠 (奈良女子大学)
	三好建正 (理化学研究所)
	中島 孝 (東海大学)
	沖 理子 (JAXA)
	Byung-Ju SOHN (ソウル大学)
	Tim SCHMIT (NOAA/NESDIS)
	吉崎徳人 (気象庁)

連絡先：

E-mail : jmsj.himawari8@gmail.com